

わんぱく学園ニュース

平成19年 7～8月号 No131

夏のたそがれ、斐伊川の土手にしばしたたずんでいた私、いつの間にか辺り一面、黄色の大輪四弁の花が咲き開くのに目をうばわれた…。そう…月見草の花に…。夕方咲き朝方しぼむこの花を、待宵草(まつよぐさ)とも……。 「夕暮れに、明かりのごとし、月見草」 ～ 垣

ドキュメンタリー番組を中心にするどく社会をとらえ、感動的な番組を世に送り出している、横浜在住のTV番組制作プロデューサー・ディレクター渋谷誠氏からのお便りを、ここに紹介致します。

「アンコール・神々の子供たち」

私たち日本人は、いつ頃から神々や仏への信仰や篤信を忘れたのだろうか？。

そう思ったのは今年の3月末、カンボジアを訪れた時だった。ポル・ポト政権時代、200万人もの人々が殺されたカンボジア。日本と同じく仏や神々を信仰する国で起きたあまりに残忍な殺戮(さつこく)。寺は破壊され僧侶も殺された。

人々はそれほどの被害に遭いながら、何故、信仰に疑問を持たないのか…。

破壊を免れたものがある。それは12世紀の初め創建されたアンコール・ワット寺院。昔も今も、カンボジア人が一生に一度は参拝したいと願う聖地であり、心の拠り所だ。長い内戦下にあったカンボジアは、今も日本などの経済援助なしには成り立たないほどに貧しい。小学校でも、読み書き計算ができるようになると来なくなる子が多い。親が仕事をさせる為、辞めさせるのだが、生徒は先生には「学校がつまらなくなった」と言い、親が責められないよう庇う。

カンボジアの子供たちの心は哀しいまでに美しい…。

そのカンボジアではどんな貧しい村にも立派な寺があり、多くの僧侶たちが修行を積んでいる。その生活を支えているのは村人たち。

食事の世話やお金などの寄進を欠かさない。人々は僧侶を通じ、功德を積むことが何より大切と考えている。

今、アンコール遺跡のある町・シェムリアップは観光ブームに沸く。ホテルなどの建設ラッシュ、急増するバイクや車。しかし、インフラ整備は遅れ、廃ガスや溢れるゴミで環境は悪化している。

環境を守る森の木々や自然の大切さを学ぶ為、近郊の村にある小学校の子供たちとアンコール・ワットに行くことになった。車で約45分の距離。そんな近くにありながら、全員、初めてという。遠足も、バスに乗ることも…。その朝、一張羅を着た子供たちが嬉々としてバスに乗り込んだ。取材の車はバスのすぐ後ろに。校門を出た直後だった。バスの窓から大量の紙吹雪が舞った。カメラも間に合わない一瞬の出来事。何が起きたか解らない。振り返ると、僧侶が、その紙切れを拾い集めていた。カンボジア人の通訳が微笑みながら説明する。『そこは寺の入り口。今日は、寄進の日』

子供たちは親に貰ってきたキャンデー代を惜しげもなく寄進したのだった。

さて、6月に楽しんだ『学園』の遊びの一部を紹介致します。

そして、この8月は、初めての
“いかだ遊び”に挑戦！！



今年20年目を迎えた、わんぱく学園。その節目として、斐伊川で“いかだ遊び”をすることになりました。さてさて、どんな“いかだ”が出来上がるのでしょうか？。楽しみです！！。

👁️いかだの設計づくり👁️

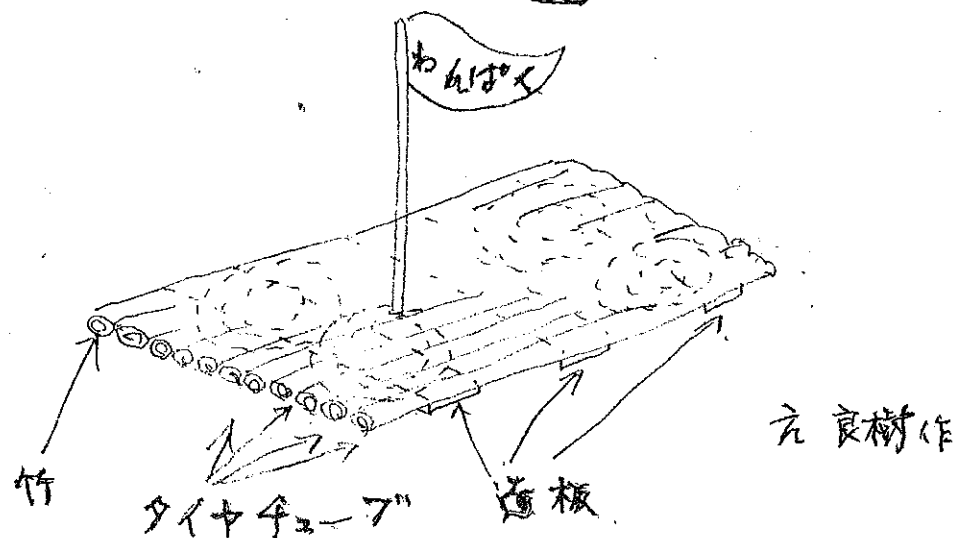
6月17日は、ギャラリー“ミチル”でいかだの設計作りをしました。参加者は広君、亮君、球志君、私の娘の秦海、土江先生、それと私でした。最初はいかだの絵を書こうということでしたが、みなのおもいはそれぞれで、結局発泡スチロールでこしらえた船の上に絵で描いた人や物に乗せることにしました。

広君は、がんばって4人も人を描いてくれました。亮君は、得意の電車の絵を描いてくれました。球志君は、ミチルに来たのが初めて、私と会うのも初めてだったので、少し緊張していたのかもしれませんが、最初は何を描こうとかなり考えていましたが、そのうち画用紙に発泡スチロールの絵がヒントになったのでしょう～、船の絵を描いてくれました。一通り絵を描き終わるとティータイムです。ちょうどその日の朝にいただいたぶどうをみんなでわけ食べました。コーヒーも飲みました。亮君が仕事でしている缶の収集の様子を、一生懸命に話してくれました。

今回はいかだの設計図を描きましたが、次回は土江先生宅の裏山でいかだに使う竹切りを予定しています。

どんないかだが出来なのか。果たして浮いてくれるのか。人は乗れるのだろうか。川に水はあるのだろうか…。様々なことが頭に浮かんでくるのですが、作る過程を楽しみながら完成に向かっていこうと思います。
(記 画家 榎野 良樹)

いかだ設計図



ひろし君、変し～ん!

～ひろ先生(当欄スタッフ・龍家飯の姓)とひろし君の会話より～
 ひろ「お～い! ひろし!! どうしたんだぁ～?
 この頃 よくしゃべるようになったが」
 ひろし「…ふふ…」 ひろしスマイルで ひろ先生をチラリ
 ひろ「以前は ひろしは黙ってばかりいたから どこにいるかわからなかったのに 声かけても知らん顔だったし
 今頃は やかまして いけ～ん…」
 ひろし「うっ ふふ…」 粘土でひも状の作品を作りながら笑顔で
 首を長～くし ひろ先生をじっ～と
 ひろ「ひょっとして これ(櫛を高く掲)でも 出来たんかぁ～?」
 ひろし「ワッ ハッハー」 一塊の粘土を両手ではさみながら パンパンとたたき 首や肩をすくめ 大笑い
 ひろ「ひろしには 参った…」 ところでひろし君、どうしてこんなに変わったのかな?…何でも話せ、ありのままにいれる。だから心の扉を開く事の出来るわんぱく学園ならでは…これが“こたえ”かな。

◆7月・8月の「わんぱく学園」のメニューは下記の通りです。

7月 8日	粘土でコネコネ遊び(担当 安食ひ・土江 斡 アトリエおちと) お茶処「おちと」で、ひろ校長のおもっせ話
15日	いかだの竹切り(担当 榎野 麟 スタッフで都合がつく方) 集合場所 おちと 準備 水筒 軍手等学園で準備
22日	お菓子づくり (担当 原幸・山口 野 斡 コスモ元親川西中体育館横) 榎費 200円 ※参加者は原幸へ 72-0452
29日	魚つりだよ!(担当 福田 隆 斡 伏島) ※餌は学園で準備 準備物: お弁当 水筒 家にある人は釣りさお
8月26日	斐伊川でいかだ遊び(全スタッフ 斡 西代橋北側土手) ぬれてもよい服装でね。※救命用具は学園で準備 準備 おむすび・漬け物・水筒 ※集合9時

集合時間 9時30分・集合場所 光人塾前駐車場 ★材料費200~300円に準備
 ☆8月のわんぱく学園は基本的にはお休みです。地域行事に参加してね
 《学園の問い合わせ 土江090-7774-5913》 [文責 土江和世]